

大学の世界展開力強化事業 取組概要 東京医科歯科大学

【構想の名称】(選定年度24年度(申請区分(I)))

東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

医歯学領域において、国際的にリーダーシップのとれる自立型の若手研究者・医療者を養成する。

【構想の概要】

東京医科歯科大学が、タイのチュラロンコン大学、インドネシアのインドネシア大学およびベトナムのホーチミン医科薬科大学と連携してコンソーシアムを形成し、我が国が有する先進的な医療・歯科医療機器や材料、最新の医療・歯科医療技術等を基盤として、東南アジアにおいて大学間交流を推進してネットワークを形成し、我が国の医歯学領域の世界展開力を強化する取組である。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 大学間交流の実績

東京医科歯科大学の留学生数は216名(2013年)と、保健医療系の留学生数は我が国で最も多い。また、海外での教育経験等のある教員が30%おり、臨床修練指導医の資格を有する医師、歯科医師も多い。タイのチュラロンコン大学、インドネシアのインドネシア大学、ベトナムのホーチミン医科薬科大学は、東南アジアで医歯学領域の教育研究を牽引している大学であり、10年以上にわたる本学との学術交流の実績をもとに、本事業を開始した。

(4大学の歯学部長による同意調印式)



○ 医歯学領域の単位認定プログラム

学部学生は医師・歯科医師養成課程の多くを自国で学ぶ必要があるが、研究プロジェクトや臨床実習・研修では海外派遣(受入)期間の単位を相互認定することが可能であり、一部はすでに開始されている。本学と3大学間で単位認定制度について協議し、学部学生及び大学院生を対象とした「国際医歯学研究プログラム」と「国際医療・歯科医療研修プログラム」を創設し、単位を付与する体制を整えた。

■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

(4大学の学生による歯科実習コンテスト)



○ 歯科研修プログラムの実施

本プログラムは、3ヶ国の歯学部学生を招聘し、本学学生との交流、基礎・臨床分野における研修のほか、歯科関連企業見学、歯科技術の実習コンテスト等、2週間に渡る実践的なプログラムで、日本を含めた4ヶ国の学生が2泊3日間寝食を共にする研修・文化交流プログラムとしてグローバルリトリートも取り入れて実施した。実施後の参加学生へのアンケート結果からは英語力や発表技術、専門知識の向上に加え、国際交流への関心が参加前より高まったことが分かった。

○ 国際シンポジウム、評価委員会等の開催

学内での国際交流への関心を高めるための海外研修参加学生による報告会(国際セミナー)や、東南アジア出身の元本学留学生を招き、歯学教育の国際汎用性等をテーマにした国際シンポジウムを開催した。また評価委員会を開催し、今後のより充実した事業実施を目指した検討を行った。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

医学部は2名の学部生がタイで5ヶ月間「国際医学研究プログラム」に参加し、歯学部は13名の学部生及び大学院生がタイで、4名の大学院生がインドネシアで「国際歯科医療研修プログラム」に参加した。

○ 外国人学生の受入れ

医学部ではタイの学部生を1名1ヶ月間、また歯学部ではタイ、インドネシア、ベトナムから各8名、計24名の歯学部生を2週間同時期に受け入れ、英語による歯科研修プログラムを実施した。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	19	36	36	36	40
学生の受入	25	21	21	21	25

注)H24は実績、H25以降は計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 5ヶ国語基本歯科用語集の試用

英語、日本語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語からなる5カ国語基本歯科用語集を試作、試用した。これにより各国のプログラム参加学生の専門用語への共通理解が深まり、研修成果を高めることができた。

○ テレビ会議システム及び自学自習システム等の導入

テレビ会議システムの設置により、大学間の円滑な連絡体制が整備されるとともに、今後3ヶ国の大学と講義等の相互配信を実施できるようになった。また、講義の自動収録装置や自学自習システム等の導入により学生の教育環境が整えられた。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ ホームページによる情報公開と成果の普及

日本語及び英語のホームページを作成し、本事業の内容・成果等の情報を国内外に公表・発信した。また、事業への参加申請書類や報告書の様式等をホームページに掲載し、ダウンロードできるようにしている。

<http://www.tmd.ac.jp/grad/ohp/sekaitenkai/index.html>